

平成21年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
1	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ) 総合支所	1790-01	教育委員会活動 運営事務	教育行政の円滑な運 営と教育委員としての 研鑽を図る	1,896	1,857	△ 39	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条に定める職務について、同法第26条及びむかわ町教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の規定に基づき、定例会を12回、臨時会を2回開催し、議案等177件を審議した。また、町立学校7校を訪問し、各学校の特色ある教育活動の取り組みや課題等について意見交換を実施した。 今後、過小規模校の統廃合計画に基づき保護者や地域住民の理解を得てよりよい教育環境の提供に努めることや、今日的な教育課題の解決に向けて、教育委員として更に研修を深めていく必要がある。なお、学校数が多いため、学校訪問の工夫も必要である。	B維持	
2	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ) 総合支所	1810-01	就学指導事務	心身に障害があり、 教育上特別な取扱いを 要する児童生徒に対 し、適正な就学指導を 行うための就学指導委 員会の設置及び活動	66	140	74	特別支援教育の充実及び本町の児童生徒の適正な就学に向けて、引き続き細かい取り組みを続けていく必要がある。	B維持	
3	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ) 総合支所 (教育振興 課)	1830-01 1830-02	教職員福利厚生 事務	職員の健康保持のた め学校保健の充実を図 る。	993	975	△ 18	学校保健安全法第15条の定めにより教職員の定期健康診断、血液検査、人間ドックを実施。 教育課程以外の活動（PTA活動、学級活動、部活など課外活動）における事故等の補償をし、教職員の負担軽減に努めている。	B維持	
4	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ) 総合支所 (教育振興 課)	1840-01 1840-02	高等学校振興対 策事業	鶴川高等学校並びに 穂別高等学校の存続対 策及び体育・文化活動 の振興	11,357	1,514	△ 9,843	鶴川高校生への部活動等への支援、穂別高校生への通学バスや下宿代の助成を行うことにより、入学希望条件が有意になり、高校存続問題にも有効なものとなっている。 今後も両高等学校の存続を図るため必要な事業である。 (前年度決算 鶴川高校野球部甲子園出場補助金10,000千円による減)	B維持	
5	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ) 総合支所 (教育振興 課)	1850-01 1850-02	魅力ある教育推 進事業	学ぶ意欲を高める魅 力ある学校づくりを推 進する	2,914	2,132	△ 782	鶴川中学校と鶴川高等学校との連携型中高一貫教育は、生徒の興味関心などに応じた多様な学習形態が定着し、6年間の見通しの中、特色ある教育活動が展開されている。今後も一層の振興と教育内容の充実に向けた支援が求められる。 スクールカウンセラーについては道費負担となったが、児童生徒をとりまく環境等の変化から今後も引き続き継続する必要がある。 穂別中学校のT・Tについては、全体的に基礎基本の定着に効果をあげており、継続が必要である。 穂別地区事前交流事業は、中学校生活スタートに向け意欲を引き出したり、コミュニケーションの基盤等ができ、有効である。	B維持	
6	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ) 総合支所 (教育振興 課)	1860-01 1860-02	児童生徒保健対 策等事務	就学前自動、及び児 童生徒の健康保持のた め学校保険の充実を図 る。	1,211	1,174	△ 37	学校保健安全法の定めにより、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、健康診断を定期的実施するとともに、感染症の予防や感染症による学級閉鎖などに助言をいただくなど、学校教育の円滑な実施を図っている。また、就学前児童の健康診断を行い、結果に基づき、必要に応じて保護者に治療を勧告するなど就学に備えていただいている。 学校環境衛生検査は、学校環境衛生の基準に基づき換気、保湿、採光、証明、騒音等の学校環境の検査を行うもので、平成22年度以降定期的に実施していく必要がある。	B維持	

平成21年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
7	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1880-01	教職員住宅等維持管理事務	むかわ町立学校に勤務する教職員の住宅の維持管理	1,926	2,313	387	児童生徒数の減少により教職員の定数も減少しており空き住宅が増えてきているため、可能なものについては普通財産に所管換えし、有効活用を図ることが望ましいと考える。 今後も適切な維持管理に努める必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)	1880-02								
8	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1900-01	教職員住宅建設 割賦償還金	教職員住宅の整備に係る償還金及び負担金	29,253	25,938	△ 3,315	教職員を確保し、またその能力を発揮する上で住環境の整備は必要なことから、計画的な教職員住宅の整備を進める必要がある。	B維持	
	総合支所									
9	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1910-01	教育団体活動等 事業助成事業	就学前教育の奨励、教育活動を補完する団体への活動を支援し、教職員の資質の向上と教育環境整備を図る	8,271	7,765	△ 506	町内唯一の幼稚園は、入園する園児数が減少し、経営健全化に向けた取り組みが求められている。幼児教育の一翼を担っている私立幼稚園の運営に対して支援は必要である。 学校教育では、教員の指導力や人間性が子どもに与える影響は極めて大きいことから、引き続き町教育振興会などへの支援を行い、研修意欲と実践的力量の向上を図る必要がある。	C見直	
	総合支所 (教育振興課)	1910-02								
10	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1920-01	英語指導助手配 置事業	小・中学校における英語活動並びに国際理解教育の充実を図るため、小・中学校へ外国人英語指導助手を派遣する。	8,678	8,774	96	国際化の一層の進展が予想され、英語によるコミュニケーション能力や国際理解の基礎を児童生徒に身に付けさせることは重要な課題であり、小学校における英語を中心とした外国語活動が22年度から始まることから、本事業はますます必要である。 鶴川地区と徳別地区の実施方法の整合性を検討する必要がある。	C見直	
	総合支所 (教育振興課)	1920-02								
11	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1930-01	通学バス運行事 業	町内統合校などの児童生徒の通学負担を軽減するため通学バスを運行するとともに、学校行事等を円滑に行うため多目的バスを運行する。	30,001	25,986	△ 4,015	学校の統廃合により、または従来から遠隔地からの通学者が多いため、通学バスは必要であるが、児童生徒数の推移により路線等の見直しは随時必要である。 校外学習等に要する貸し切りバスや多目的バスの運行は教育課程の一環であることから、実施に当たっての工夫は必要であるものの今後とも不可欠の事業である。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)	1930-02								
12	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1950-01	小学校運営事務	小学校運営全般に係る諸経費、教育環境の整備	50,199	40,586	△ 9,613	学校現場の実情に合わせ迅速な予算執行を可能とする学校配当予算と、経済的かつ効率的な業務実施のため教育委員会直接執行する管理運営事務の組み合わせで構成されている。快適な教育環境を提供していく必要があり、今後も適正な執行管理に努める必要がある。 特別支援教育を必要とする児童が増えつつあり、特別支援教育の充実のため、学習支援員や介助員の配置を行い、教育内容の充実にも努める必要がある。 (稲里小・和泉小閉校による減)	B維持	
	総合支所 (教育振興課)	1950-02								

平成21年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
13	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1960-01	小学校施設管理 事務	学校施設、設備の維持管理を行い、教育環境の維持及び義務教育の円滑な運営と児童の安全性の確保を図る。	12,312	14,733	2,421	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、より効率的・効果的な改善が必要である。 学校施設、設備の管理については、今後とも定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図っていく。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)	1960-02								
14	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1970-01	小学校施設整備 事業	学校施設、設備の整備を行い、教育環境の改善及び義務教育の円滑な運営と児童の安全性の確保を図る。	3,777	3,111	△ 666	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、緊急性や必要性を検討し、計画的な整備・改修を推進していく必要がある。 コピー機、印刷機はリース契約期間が満了となっても、できるだけ使用し、経費の節減を図っている。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)	1970-02								
15	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1980-01	小学校保健・安全 対策事務	児童の安全確保と、健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施を図る。	3,321	3,145	△ 176	児童の通学時安全確保は各学校で整備している危機管理マニュアルの徹底とともに、新入学児童の防犯ブザー携帯は有効である。 また、学校保健安全法の定めにより、学校教育の円滑な実施を図っている。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)	1980-02								
16	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	1990-01	小学校就学援助 事業	経済的理由によって就学困難な児童の保護者、特別支援学級に就学する児童及び保護者に対して学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図る。	1,331	1,160	△ 171	低所得世帯等に学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に資することができた。 今後も、制度の周知を徹底し、対象者の把握に努める必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)	1990-02								
17	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2000-01	小学校教材備 品等整備事業	小学校教材備品等を整備し、義務教育の円滑な実施を図る	4,599	4,093	△ 506	教科用品等の消耗品や教材備品、学習用図書等の購入は学習指導要領に基づいた教育活動を実施する上で、必要不可欠である。 今後も、各学校で必要としている教材備品等について、計画的に整備する必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)	2000-02								
18	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2010-01	小学校情報教育 推進事業	高度情報化社会の進展に対応する人材を育成するため、児童に対する情報教育の充実を図るとともに、教職員用コンピュータを整備することにより学校事務の効率化を図る。	11,186	6,374	△ 4,812	児童に対する情報教育の充実、並びに学校事務の効率化を図るうえでも不可欠な設備整備である。 今後、年数が経過したコンピュータ機器を計画的に更新していくことが必要である。	B維持	
	総合支所 (教育振興課)	2010-02								

平成21年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
19	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2015-01	小学校建設事業	学校施設・設備整備 等により、教育環境の 改善及び義務教育の円 滑な運営と生徒の安全 性の確保を図る。	6,248	147,315	141,067	学校教育において校舎をはじめ施設整備の果たす役割は、教育効果を左右する重要な要件となっている。 築後49年が経過した富内小学校は、老朽化が著しいことから屋体を含めた全面的な大規模改造を実施した。併せて旧富内中学校を解体し教育環境の整備を図ることができた。	E終了	富内小学校の大規模改造は終了 今後、耐震性の ない小学校の改 築を進める。
	総合支所									
20	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2020-01	中学校運営事務	中学校運営全般に係 る諸経費、教育環境の 整備	19,758	20,628	870	学校現場の実情に合わせ迅速な予算執行を可能とする学校配当予算と、経済的かつ効率的な業務実施のため教育委員会で直接執行する管理運営事務の組み合わせで構成されている。快適な教育環境を提供していく必要があり、今後も適正な執行管理に努める必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2020-02								
21	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2030-01	中学校施設管理 事務	学校施設、設備の維 持管理を行い、教育環 境の維持及び義務教育 の円滑な運営と生徒の 安全性の確保を図る。	4,437	7,791	3,354	学校施設、設備の維持管理について現在鶴川中学校改築中のため最小限にとどめている。 学校施設、設備の管理については、今後とも定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図っていく。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2030-02								
22	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2040-01	中学校施設整備 事業	学校施設、設備の整 備を行い、教育環境の 改善及び義務教育の円 滑な運営と生徒の安全 性の確保を図る。	1,679	1,725	46	学校施設、設備は鶴川中学校建替中のため緊急性が高いもののみ改修を実施している。 コピー機・印刷機は、リース契約期間が満了となっても、できるだけ継続して使用し、経費の節減を図っている。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2040-02								
23	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2060-01	中学校保健・安 全対策事務	生徒の安全確保と、 健康の保持増進を図 り、学校教育の円滑な 実施を図る。	1,666	1,609	△ 57	生徒の通学時安全確保は各学校で整備している危機管理マニュアルの徹底とともに、女子生徒の防犯ブザー携帯は有効である。また、いじめの防止対策に取り組んでいる。 学校保健安全法の定めにより、学校教育の円滑な実施を図っている。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2060-02								
24	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2070-01	中学校教材備品 等整備事業	中学校教材備品等を 整備し、義務教育の円 滑な実施を図る	5,481	4,459	△ 1,022	教科用品等の消耗品や教材備品、学習用図書等の購入は学習指導要領に基づいた教育活動を実施する上で、必要不可欠である。 今後も、各学校で必要としている教材備品等について、計画的に整備する必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2070-02								

平成21年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
25	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2080-01	中学校就学援助 事業	経済的理由によって 就学困難な生徒の保護 者、特別支援学級に就 学する生徒及び保護者 に対して学用品等を援 助することにより、義 務教育の円滑な実施を 図る。	1,744	2,058	314	低所得世帯等に学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に資することができた。 今後も、制度の周知を徹底し、対象者の把握に努める必要がある。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2080-02								
26	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2090-01	中学校情報教育 推進事業	高度情報化社会の進 展に対応する人材を育 成するため、生徒に対 する情報教育の充実を 図るとともに、教職員 用コンピュータを整備 することにより学校事 務の効率化を図る。	2,687	6,452	3,765	生徒に対する情報教育の充実、並びに学校事務の効率化を図るうえでも不可欠な設備整備である。 鶴川中学校改築事業に伴い校内LAN等の情報教育の環境を整備することができた。今後は年数が経過したコンピュータ機器を計画的に更新していくことが必要である。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2090-02								
27	本庁 (生涯学習 課学校教育 グループ)	2115-01	中学校建設事業	学校施設・設備整備 等により、教育環境の 改善及び義務教育の円 滑な運営と生徒の安全 性の確保を図る。	985,655	627,438	△ 358,217	学校教育において校舎をはじめ施設整備の果たす役割は、教育効果を左右する重要な要件となっている。 老朽化が著しい鶴川中学校は、前年度Ⅰ期工事を行い、Ⅱ期工事として校舎改築（屋体・グラウンド整備・太陽光パネルなど）を行った。今後外構工事を実施していくことが必要である。	B維持	
	総合支所 (教育振興 課)	2115-02								
28	本庁(生涯学習課社会 教育グループ)	2120-01	社会教育委員活 動運営事務	教育委員会が行う社 会教育計画の立案や社 会教育事業に関し助言 するための社会教育委 員の活動経費	438	466	28	合併における「一体感づくり」を役割とした『むかわ町社会教育研究大会』をH19に引き続き、今年度開催した（隔年開催、次期H23）	B維持	
	総合支所									
29	本庁(生涯学習課社会 教育グループ)	2130-01	社会教育推進事 務	社会教育行政を推進 するための一般事務経 費	1,860	709	△ 1,151	社会教育事業等を推進するため有効である。北海道教育委員会からの派遣社会教育主事は、社会教育事業全般を担当し、3年間派遣された。(平成18～20年度)	B維持	
	総合支所(教育 振興課)	2130-02								
30	本庁(生涯学習課社会 教育グループ)	2140-01	社会教育団体等 活動費助成事業	社会教育関係団体に 財政支援を行い、活発 な活動を促す	4,538	3,609	△ 929	社会教育団体の自主的活動を支援することで、文化・レクリエーションが有意に展開されている。各団体が統合してから、順調な運営をするために支援は必要である。「行政改革の削減目標（H18～H22年度）」において現行補助から30%削減が示されており、各種の活動に創意が必要である。	C見直	
	総合支所(01 に統合)	2140-02								

平成21年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
31	本 庁(生涯学習課社会教育グループ)	2150-01	生涯学習基金活用事業	文化、スポーツ及び社会活動など生涯学習意欲に応える費用に充てるために設置された「むかわ町生涯学習推進基金」の有効な活用を図る	5,223	3,267	△ 1,956	派遣事業としてかかる経費(交通費、宿泊料等)を助成することで、参加(出場)者への支援が有効である。 また、公益性のある事業が展開され、まちづくりの推進に顕著な効果が期待される。	B維持	
	総合支所									
32	本 庁(生涯学習課社会教育グループ)	2170-01	公民館活動一般事務	生涯学習推進アドバイザーを置き、生涯学習の推進を図る いじめ等の相談活動により児童生徒の健全育成を図る	4,089	4,285	196	教育一般に関し、豊かな識見を有し、且つ、生涯学習に関する指導技術を必要とする事務事業であり、生涯学習アドバイザーの配置を行っている。 特に子どもに関する事業…わんぱく、放課後子ども教室、学校地域支援など、企画進行(コーディネート)する役割をもつ。	B維持	
	総合支所									
33	本 庁(生涯学習課社会教育グループ)	2180-01	公民館事業	各年代別や課題に即した生涯学習の機会の提供を行うとともに、学習成果の還元を推進する。また、子どもたちの体験活動等を行い健全な育成を図る	1,601	1,923	322	公民館事業について、事業の実施毎に評価(①前回の実施に対する課題の整理 ②住民のニーズ点検 ③今後の動向を踏まえての必要性)を実施している。これらを分析して、事業の優先度を位置づけし、今後の方向を検討している。 事業の数が多く、事業の組合せなど工夫も必要と思われる。	B維持	
	総合支所(教育振興課)	2180-02								
34	本 庁(生涯学習課社会教育グループ)	2200-01	図書館等管理運営事務	町民の教育と文化の向上を図るため設置されている図書館(図書室)の管理運営	5,950	4,794	△ 1,156	図書館は、町民への情報提供手段として重要な役割を果たしてきている。今後さらなる町民の学習要求に応えるため、蔵書の拡大と移動図書館の整備などが必要である。 合併によりサービス対象人口が拡大したこともあり、図書館の情報提供機能を強化し、町民の学習活動への支援と、地域の活性化に向けたサービスの展開が求められる。	A拡大	
	総合支所(特別図書館)	2200-02								
35	本 庁(生涯学習課社会教育グループ)	2210-01	生涯学習センター管理運営事務	町民の学習機会の充実と文化及びスポーツ活動の場の提供並びに町外の住民との交流の場として設置されている生涯学習センター(報徳館)の管理運営	1,514	1,585	71	○文化・スポーツ関係の合宿施設として利用されている。平時は無人であるが、使用時には「常駐・清掃」を委託している。	B維持	
	総合支所									
36	本 庁(生涯学習課社会教育グループ)	2220-01	文化財保護事業	町の重要な文化財の保存及び活用のため必要な措置を講じ、町民文化の向上を図るための経費	358	360	2	適正な文化財の保護・保存について努めている。今後は、文化財と一般町民とのふれあいの機会・場の創出が課題。	A拡大	
	総合支所(教育振興課)	2220-02								

平成21年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
37	本 庁(生涯学習課社会教育グループ) 総合支所	2230-01	婦人研修センター管理運営事務	女性の学習機会の拡充と生活文化の向上を目的として広く地域住民の文化活動の促進に寄与するため設置した婦人研修センターの維持管理	1,282	1,311	29	女性の学習機会の拡充や生活文化の向上に寄与することができた。 施設が老朽化していることから、建物維持調査及び改修が急がれる。	A拡大	
38	本 庁(生涯学習課社会教育グループ) 総合支所	2240-01	青少年健全育成等推進事業	家庭・学校・地域社会や関係機関との連携強化に努めながら青少年の健全育成を図るための経費	685	653	△ 32	青年団活動については、公民館事業「ゆめ育事業」の自主的な活動をするほか、会員相互の交流や地域での活動を行っており、「まちづくり」を担う次代の育成の面での期待が大きい。 成人式の開催日については、対象者が参加しやすい日取り（現況どおり）、成人の日に併せる（合同開催または各地区開催）など検討している。 少年の主張大会については、主催（教育委員会）実施主体（運営委員会）と役割分担する中で実施している。	C見直	青少年健全育成委員会のあり方の検討
39	本 庁(生涯学習課社会教育グループ) 総合支所	2250-01	鶴川高等学校生徒寮管理運営事業	鶴川高等学校に在籍する生徒及びスポーツ等で合宿する青少年等に寄宿の便を与え、もって学力の向上、健康の保持増進及び青少年の健全な育成に寄与するために設置した生徒寮の管理運営	12,464	12,800	336	寮生は野球部に所属しており、鶴川高等学校の存続及び硬式野球部の活動に大きく寄与しており、事業の継続が必要である。	B維持	
40	本 庁 総合支所(教育振興課)	2260-02	穂星寮管理運営事務	就学のために来町する青少年に寄宿の便を与え、もって学力の向上、健康の増進及び子弟の育成に寄与するため設置された穂星寮の管理運営	30,660	25,030	△ 5,630	寮生は、親元から離れ環境を変え現管理体制の中で有意義な寮生活を送っており、穂星寮高校存続にも寄与している。今後もこの事業の継続が必要である。	B維持	
41	本 庁(生涯学習課社会教育グループ) 総合支所(教育振興課)	970-01 970-02	児童館管理運営事務	放課後児童に適切な遊び、及び生活の場を与え、健全な育成を図る。	17,694	17,019	△ 675	核家族化、共稼ぎ世帯の増加により、放課後児童の健全育成についてニーズは高まる一方である。 また、特別支援学級児童数も増加しており、保護者としてはできるだけ多くの児童の中で成長させたいという意向が強まってきている。 鶴川地区の施設は老朽化しており、穂星地区は手狭となっており、今後適正な規模で事業運営ができるよう環境整備が必要となってくる。	B維持	

平成21年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
42	本 庁 総合支所(徳 別博物館)	2270-02	博物館管理運営 事務	自然及び人文に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、町民の教養、文化の向上に寄与する。	12,808	12,696	△ 112	資料の収集や管理については、昨年度に比べて数の変化はあったものの、例年通りに実施することができた。調査・研究活動については、本年は外部研究者の来館が相次いだ。当館の研究活動を進める上で今後も外部研究者とのつながりを強化していきたい。特別展・企画展は4回実施した。教育普及事業として、普及講演会、化石採集会、クリーニング実習、体験コーナーを実施した。これらは一定の人気があるため、他の業務との兼ね合いをみながら今後も実施していきたい。 町内の学校などの利用は、今年も一定の利用があった。社会教育施設として、今後も積極的に対応していきたい。今年度については、町の交流人口拡大小イベントに協力した事業を実施した。博物館本来の役割との両立を図りながら、今後も可能な限り対応していきたい。広報活動においては、より幅広く周知を図るためにも、ホームページによる情報提供を今後も積極的に行っていきたい。	B維持	
43	生涯学習課 教育振興課	2290-01	体育指導委員活 動運営事務	スポーツ・レクリエーションの普及および振興	1,428	1,277	△ 151	○子どもの体力向上や高齢化における、健康社会の実現に向けて「体育指導委員」の役割は一層重要になる。「総合型地域スポーツクラブ」への継続支援と地域の拡大（育成）、生涯スポーツのメニュー作成、関係機関・団体等との連携など多岐にわたり任務と力量が必要とされる。そのため、積極的に研修会等へ参加し、指導者としての豊富な知識を得ることが重要と考える。	B維持	
44	本 庁(生涯学習課社会 教育グループ) 総合支所(教 育振興課)	2300-01 2300-02	町民体力づくり 事業	町民の健康や体力の増進を基本としたスポーツの普及・啓発・振興を図る。	322	195	△ 127	各種事業の実施により、町民がスポーツに親しむ機会を提供し、体力の向上に効果をあげている。 また、小学校のスピードスケート教室については、正しい知識と技術を教示することから、講師の派遣は必要であり、例年要望も多いことから継続している。	B維持	
45	本 庁(生涯学習課社会 教育グループ) 総合支所	2310-01	スポーツ団体等 活動費助成事業	スポーツ団体等の支援をすることにより、町民の交流と連帯を養い且つ、スポーツへの参加意欲を高め、心身の健全な発展と明るく豊かな地域づくりに資する	2,982	4,031	1,049	社会体育関係団体に補助金等を交付することにより、団体の財政面を支援し、町民主体によるスポーツ活動の奨励を行った。各団体において更に多くの事業を展開してもらうように助言や支援を行う必要がある。 「スポーツ振興事業」「びーがれ大会」等は町が委託する事業として、主体的に（自立）実施するまでにはやや暫く支援が必要と思われる。 また、当該年度は本町出身の田畑真紀選手のバンクーバー五輪出場に係る協賛会についても補助を行い、ふるさと応援等、町民の各種応援の機運の高まりを図った。本補助事業は田畑選手の銀メダルの獲得により、町民に夢と希望を与え、スポーツ振興の面で大きな恩恵があった。	B維持	
46	本 庁(生涯学習課社会 教育グループ) 総合支所	2320-01	学校開放事業	コミュニティ・スポーツの推進を図るため、小中学校の屋内運動場やグラウンドを開放し、その管理運営を行う	847	604	△ 243	学校の授業に支障のない範囲で、学校体育施設を有効に活用し、本町のスポーツ振興に効果をあげている。 年度後半より自主管理方式に移行し、管理費の縮減と施設に対する利用者の自覚を高めることができた。	B維持	

平成21年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
47	本 庁(生涯学習課社会教育グループ) 総合支所	2360-01	鶴川体育館管理運営事務	町民の心身の健全な育成と健康の保持、増進を図り、広く生活文化の向上に寄与するために設置されている鶴川町民体育館の管理運営	11,280	8,273	△ 3,007	町民体育館利用調整会議(夏季・冬期)を開催し、使用者団体の調整を行い、公平・効率的な利用に努めている。(補完施設として、中央小学校、宮戸小学校、鶴川中学校及び報徳館の屋内運動場を指定) 施設の設置(昭和48年)…老朽化と使用頻度も高く、施設の耐久力も極まり、改修の検討も必要となる。	B維持	
48	本 庁 総合支所(教育振興課)	2370-02	穂別スポーツセンター管理運営事務	町民の心身の健全な育成と健康の保持、増進を図り、広く生活文化の向上に寄与するために設置されている穂別スポーツセンターの管理運営	13,719	13,234	△ 485	穂別地区の体育振興の中心施設として、各種スポーツ大会の会場として多数利用されており、地域住民の交流の場ともなっている。また、町外の室内サッカースクールやバドミントン合宿の練習施設として利用されている。必要に応じて、穂別地区体育施設利用調整会議を開催し、使用者団体の調整を図りながら行っている。施設の設置(昭和54年)から築30年を経過していることから、長寿命化を図りながら適切な管理運営を行う必要がある。	B維持	
49	本 庁(生涯学習課社会教育グループ) 総合支所	2380-01	田浦野球場管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持増進を図り、スポーツ文化の向上に寄与するために設置されている田浦野球場・田浦第2野球場の管理運営	4,222	4,083	△ 139	鶴川高校野球部をはじめ町内外の野球愛好団体等に広く活用されている。 今後も施設の適切な維持管理に努めていく必要がある。	B維持	
50	本 庁 総合支所(教育振興課)	2390-02	穂別野球場管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持増進を図り、スポーツ文化の向上に寄与するために設置されている穂別野球場の管理運営	214	220	6	穂別地区の野球チームが少なく利用も減少傾向だが、地元の野球少年団、中学校野球部、社会人チームに利用されていることから、最低限ながらも維持運営を図る必要がある。	B維持	
51	本 庁(生涯学習課社会教育グループ) 総合支所	2400-01	ゲートボール場管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持増進及び軽スポーツ交流を通して町民のふれあいの場として設置されているゲートボール場の管理運営	3,811	4,028	217	ゲートボール愛好団や高齢者大学などのほか小中学生にも有効に活用されている。 今後も、適切な維持管理を行っていく必要がある。	B維持	
52	本 庁(生涯学習課社会教育グループ) 総合支所	2410-01	鶴川スケートセンター管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持及び体育・スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された鶴川スケートセンターの管理運営	5,302	5,235	△ 67	冬のスポーツ施設として少年団活動や学校体育授業等に有効に活用されるとともに、夏季には、インラインスケートの使用を可能とした施設であり、日本代表として国際大会に出場する選手などの強化練習施設としても活用されている。	B維持	

平成21年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
53	本 庁		徳別スケートリンク管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持及び体育・スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された徳別スケートリンクの管理運営	1,989	2,006	17	小学校体育授業及び少年団活動の減により利用者が減少。冬の子どもたちの運動の場、放課後・休日の遊び場としての利用価値は依然高い。スケート協会もスケート教室や町民スケートまつりを開催し冬のスポーツとして楽しめる取り組みを行っている。鶴川地区へのスケートリンクには冬季の移動時間及び交通安全上の課題もあるため徳別地区に引き続き開設の必要がある。	B維持	
	総合支所(教育振興課)	2420-02								
54	本 庁(生涯学習課社会教育グループ)	2430-01	鶴川地区パークゴルフ場管理運営事務	町民及び来町者の心身の健全な発達及び体育、スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された鶴川運動公園パークゴルフ場及びししやもパークゴルフ場の管理運営	6,248	5,702	△ 546	中高齢者のスポーツとして定着し、利用率も高い。芝生の管理等適切に行いながら利用者の要望に対応する必要がある。	B維持	
	総合支所									
55	本 庁		徳別地区パークゴルフ場管理運営事務	町民及び来町者の心身の健全な発達及び体育、スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された徳別地区パークゴルフ場の管理運営	6,565	6,345	△ 220	高齢者の健康維持と自治会等団体の親睦交流スポーツに多く利用されている。芝生の管理等を適切に行いながら利用者の要望に対応する必要がある。	B維持	
	総合支所(教育振興課)	2440-02								
56	本 庁		スキー場管理運営事務	町民の冬季スポーツの振興及び保健体育の普及向上を図るために設置されている徳別スキー場の管理運営	1,214	1,300	86	地元少年団活動、若年層の身近なスポーツ施設として利用されている。一部そりコーナーも設置しており幼児を抱える親子にも利用されている。天候などにより利用者が増減しているが、現状維持で開設を図りたい。	B維持	
	総合支所(教育振興課)	2450-02								
57	本 庁		水泳プール管理運営事務	町民の健康増進と体位の向上を図るために設置された徳別水泳プールの管理運営	3,768	3,238	△ 530	徳別地区の唯一の水泳施設であり、主に小中学校の体育授業、放課後児童の遊び場等により利用されている。22年度にプール浴槽及び鉄骨塗装の改修予定のため必要最小限の管理運営を図る。	B維持	
	総合支所(教育振興課)	2460-02								
58	本 庁(生涯学習課社会教育グループ)	2470-01	むかわたんぼぼ公園テニスコート管理運営事務	町民の心身の健全な発達と体育・スポーツ活動の普及、振興を図るために設置されている鶴川たんぼぼ公園テニスコートの管理運営	300	300	0	大雨による河川災害により施設の状態は悪くなってきている。最低限の運営費で継続開設していく。 鶴川中学校改築に伴い、公園テニスコートを同校敷地内へ移設する計画である。	C見直	
	総合支所									

平成21年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
59	本 庁 総合支所(教 育振興課)	2480-02	穂別テニスコ ート管理運営事務	町民の心身の健全な 発達と体育・スポーツ 活動の普及、振興を図 るために設置されてい る穂別テニスコートの 管理運営	628	641	13	テニス愛好者の減少により利用者が少なく、小規模の修繕を行いながら継続運営している。20年度から地元雪合戦チーム、少年団が練習や大会会場としてテニスコートを利用している。冬季の有効的な活用が図られる。	B維持	